

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年8月24日 (2017.8.24)

【公開番号】特開2017-25090(P2017-25090A)

【公開日】平成29年2月2日 (2017.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-005

【出願番号】特願2016-198882(P2016-198882)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/337 (2006.01)

A 6 1 K 31/7068 (2006.01)

A 6 1 K 31/513 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 K 31/517 (2006.01)

A 6 1 K 31/436 (2006.01)

A 6 1 K 31/282 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/16 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2017.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/337

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 31/513

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 31/517

A 6 1 K 31/436

A 6 1 K 31/282

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 9/16

A 6 1 K 47/42

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月13日 (2017.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

個体における増殖性疾患を処置するための組み合わせ物であって、

a) タキサン及び担体タンパク質を含むナノ粒子の有効量、ならびに

b)ヌクレオシド類似体の有効量を含む、方法。

【請求項2】

前記ヌクレオシド類似体が、ゲムシタピン、カペシタピン、アザシチジン、アザチオプリン、シタラビン、クラドリビン、シトシンアラビノシド、ドキシフルリジン、フルオロウラシル、ヒドロキシウレア、メルカプトプリン、メトトレキセートおよびチオグアニンからなる群から選択される、請求項1に記載の組み合わせ物。

【請求項3】

前記タキサンがパクリタキセルである、請求項1または2に記載の組み合わせ物。

【請求項4】

前記ヌクレオシド類似体がゲムシタピンである、請求項1～3のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

【請求項5】

前記担体タンパク質がアルブミンである、請求項1～4のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

【請求項6】

前記アルブミンがヒト血清アルブミンである、請求項5に記載の組み合わせ物。

【請求項7】

ナノ粒子組成物中の前記担体タンパク質と前記タキサンとの重量比が、1：1から18：1である、請求項1～6のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

【請求項8】

ナノ粒子組成物中の前記担体タンパク質と前記タキサンとの重量比が、2：1から15：1である、請求項1～6のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

【請求項9】

ナノ粒子組成物中の前記担体タンパク質と前記タキサンとの重量比が、4：1から15：1である、請求項1～6のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

【請求項10】

ナノ粒子組成物中の前記担体タンパク質と前記タキサンとの重量比が、9：1未満である、請求項1～6のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

【請求項11】

前記ナノ粒子組成物中の前記ナノ粒子の平均直径が200nm以下である、請求項1～10に記載の組み合わせ物。

【請求項12】

前記ナノ粒子組成物および前記ヌクレオシド類似体が前記個体に逐次投与される、請求項1～11のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

【請求項13】

前記ナノ粒子組成物および前記ヌクレオシド類似体が併用的に投与される、請求項1～11のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

【請求項14】

前記ナノ粒子組成物および前記ヌクレオシド類似体が同時に投与される、請求項1～11のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

【請求項15】

前記ヌクレオシド類似体の投与前位に、前記ナノ粒子組成物が投与される、請求項1～12のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

【請求項16】

前記ナノ粒子組成物および前記ヌクレオシド類似体が前記個体に4週間のうち3週間投与される、請求項1～15のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

【請求項17】

前記ナノ粒子組成物および前記ヌクレオシド類似体が両方、前記個体に週毎に投与される、請求項1～15に記載の組み合わせ物。

**【請求項 18】**

前記ヌクレオシド類似体が週に1回未満の頻度で投与される、請求項1～16に記載の組み合わせ物。

**【請求項 19】**

前記ヌクレオシド類似体が2週間に1回投与される、請求項1～15のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

**【請求項 20】**

前記ナノ粒子組成物の各投与間の間隔が1週間未満である、請求項1～15のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

**【請求項 21】**

前記ナノ粒子組成物および前記ヌクレオシド類似体の量が前記個体の腫瘍のサイズを低減させるのに有効である、請求項1～20のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

**【請求項 22】**

前記タキサンが $30 \sim 300 \text{ mg/m}^2$ の用量で投与される、請求項1～21のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

**【請求項 23】**

前記タキサンが $50 \sim 250 \text{ mg/m}^2$ の用量で投与される、請求項1～21のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

**【請求項 24】**

前記タキサンが $100 \sim 150 \text{ mg/m}^2$ の用量で投与される、請求項1～21のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

**【請求項 25】**

前記ヌクレオシド類似体が $1000 \sim 2000 \text{ mg/m}^2$ の用量で投与される、請求項1～24のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

**【請求項 26】**

前記増殖性疾患が癌である、請求項1～25のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

**【請求項 27】**

前記癌が膵癌である、請求項26に記載の組み合わせ物。

**【請求項 28】**

前記膵癌が転移性膵癌である、請求項27に記載の組み合わせ物。

**【請求項 29】**

前記膵癌が進行性膵癌である、請求項27に記載の組み合わせ物。

**【請求項 30】**

前記ナノ粒子組成物が、静脈内投与されるために安定している、請求項1～29のいずれか一項に記載の組み合わせ物。

**【請求項 31】**

前記ナノ粒子組成物が滅菌濾過が可能である、請求項1～30のいずれか一項に記載の組み合わせ物。